

抗がん剤治療を受けられる患者さんにご家族の方へ

安全に治療を受けるための注意

説明を受けた日

抗がん剤は、がん細胞に対して効果をもたらす反面、正常な細胞に対しても作用することがあり、排泄物などを介して治療を受ける患者さんやご家族の方に影響を及ぼすことがあります。特に、抗がん剤が体から排泄される期間である**投与開始から終了後48時間(2日間)**は、できる範囲で対策しましょう。

抗がん剤が付着している可能性がある物を取り扱う時は、**使い捨て手袋**をしましょう。

最後に**石けんと流水**で手を洗いましょう。



トイレ・排泄物・吐物

- 周囲への飛び散りを最小限にするよう洋式トイレを使い、男性も**すわって排尿**しましょう。
- 使用後は便器の**ふたを閉めて流し**、水量や水圧が不十分な場合は**2回流す**ようにしましょう。
- トイレ周囲を汚染した場合は、できるだけ治療を受ける**患者さんご自身**で清掃しましょう。
- ストーマやオムツ、吐物などの処理は、**手袋をはめて排泄物が飛び散らないよう**に注意し、**二重にしたビニール袋**に入れて、密閉して廃棄しましょう。

洗濯

- 排泄物や吐物などによる汚染がない場合は、他の物と一緒に洗濯できます。
- 尿・便、吐物、大量の汗などで汚れた物は、**2度洗い**しましょう。(1度目は他の物と分けて洗濯しましょう。)



その他、確認したこと、注意が必要なことなど

不安なこと、気になることがあれば、医師、薬剤師、看護師に確認しましょう。

監修：岡山赤十字病院 院長補佐 / 薬剤部 部長
日本医療薬学会認定 がん指導薬剤師

森 英樹 先生

説明を受けた医療機関